

教育的価値	具 体 の 項 目	教育課程
3【そなえる】	㊸【学校・家庭・地域での日頃の備え】 町探検をしながら、地域にある安全施設や防災施設がどこにあるかを知る。	教科（社会）

【題材】

もっと知りたいみんなのまち

【対象】

第3学年46名

【実践の概要・詳細】

〈実践の概要〉

3年生は社会科で自分たちの住む町を探検して、マップ作りを行う。その学習を復興教育の視点で見直し、自分たちの地域の『子ども110番』の家を調べる活動を仕組むこととした。

社会の学習『もっと知りたいみんなのまち』の「わたしたちのまちはどんなまち」で、自分たちの市の主な公共施設などの場所と働き、交通の様子、地域の様子や人々のくらしの様子について、インタビューをしながら調べた。また、探検学習と関連させて、自分たちの町にある消防施設や『子ども110番』の家の場所を確かめるといった学習を行い、その探検学習をもとにして、学級ごとに大きな白地図に『子ども110番』の家の位置をまとめた。

〈実践の詳細〉

- ・町探検事前指導【社会1】
- ・町探検【社会4】
- ・絵地図作り【社会4】
- ・復興学習交流会【学校行事1】



Q、『110番の家』をやっているうれしいことは何ですか？

A、みんなが元気に登校してくれることがうれしいです。困ったことがあったら遠慮しないで来てね。



町探検で、『子ども110番の家』や防災施設をさがす子どもたち

【授業の展開】

- 出発式・・・学習のねらいを確かめる。
注意することの確認。
- 探 険・・・班ごとに「まちたんけん」を行う。
1回目：学校の西側を学年全員で探検。
2回目：自分が選択したコースを探検。
- 絵地図作り・・・自分たちが探検で調べてきたことを、
大きな白地図にまとめる。
(主な公共施設、土地の使われ方、
『110 番の家』等)



児童の感想

- ・いつも自分たちが毎日歩いている道なのに、『110 番の家』があったことに気付かずに生活していました。でも注意しながら歩いてみると、自分の家の近くや思ってもいないところにも『110 番の家』があることを発見しました。自分の通学路にも『110 番の家』があるかもしれないので、これからもっと調べてみたいです。
- ・地域の人たちが、ぼくたちがいつも元気で生活できるように願ってくれていることや、安全に生活できるように見守ってくれているんだなということをインタビューをして感じました。

まとめ ○成果 ●課題

- 自分が住むまちの特色ある地形や土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子、古くから地域に残る建造物などを調べる活動を通して、地域の人々のくらしの様子をつかむことができた。
- 普段からやさしく見守ってくれている地域の人たちの愛情に気付くことができた。
- 緊急時には『110 番の家』に駆け込むことで自分たちの命を守ることができることが分かった。
- 今回は自分たちが知っているコースの探検だから良かったが、その他にもたくさんある『110 番の家』の場所を普段から意識して生活することが大切である。



復興学習交流会で、全校に『子ども 110 番の家』に関するクイズを発表する子どもたち